

第48回 西臼杵地区中学校秋季体育大会 軟式野球競技実施要項

- 1 日 時 令和6年9月14日(土) ※荒天順延
選手集合 7時30分
監督保護者代表者会 8時15分
開会式 8時30分
競技開始 9時00分
閉会式 競技終了次第
- 2 会 場 高千穂町総合公園野球場
- 3 参加資格 各学校により選抜された単一校チームであること。但し、宮崎県中学校体育大会における複数校合同チーム編成規定に該当する場合は、この限りではない。
- 4 出場制限 (1) 各学校・合同チームにおいて1チームとする。
(2) 1チームの編成は、監督(引率責任者)1名、選手25名以内(スコアラーを含む)とする。また、この他に教員を2名追加することができる。但し、外部指導者(コーチ)が入る場合は1名とし、計28名以内とする。なお、監督は背番号30、コーチはユニフォームの場合、背番号29・28を付けるものとする。
【登録された選手だけがベンチに入るのが原則】
- 5 競技方法 (1) トーナメント法とし、3位決定戦は行わない。但し、参加チームが3チームの場合は、総当たりによるリーグ戦とする。
- 6 競技規則 (1) 2024年公認野球規則並びに2024年(公財)全日本軟式野球連盟競技者必携及び別に定める大会特別規定による。
(2) 試合は7回戦とする。
(3) コールドゲームは、3回以降得点差15点以上、または5回以降得点差7点以上の場合に適用する。
(4) 7回終了時に同点の場合、8回以降はタイブレーク方式を適用する。
タイブレーク方式は、継続打順で前回の最終打者を1塁走者、その前の打者を2塁走者とする。すなわち、無死1塁・2塁の状態にして、1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は、さらに継続打者でこれを繰り返す。なお、7回までと同様、規則によって認められる選手の交代は許される。
(5) 本大会の投手の投球数は1日100球とする。100球に到達した場合は、その打者の攻撃が完了するか攻守交代するまで投球できるものとする。その際、100球以降については投球数に含まないものとする。なお、雨天等によるノーゲームとなった場合には、投球数に含まないものとする。
(6) 背番号は1～25番とし、原則としてポジション順とする。
(7) 3チームのリーグ戦による最終順位決定方法は、以下の優先順位で決定する。

優先順位① 勝率
優先順位② 失点率(失点の合計) ÷ (守備イニングの合計)
優先順位③ 得点率(得点の合計) ÷ (攻撃イニングの合計)
- 7 使用球 (公財)全日本軟式野球連盟公認M号球とする。
- 8 組合せ (1) 令和6年度西臼杵地区中体連第1回競技専門部会において、各学校理事及び代表者の抽選で行う。
- 9 表彰 優勝校には、優勝旗・賞状を、2位～3位には賞状を授与する。
- 10 審判 延岡野球審判協会・西臼杵郡軟式野球連盟各学校に委嘱する。

- 11 参加申込
- (1) 申込方法 所定の申込用紙に記入し、(3)の申込先まで申込むこと。
 - (2) 申込期日 令和6年5月10日(金)
 - (3) 申込先 西臼杵地区中学校体育連盟事務局
 - (4) 申込書類 参加申込書(3部)※職印が押印されていること。
地区中体連事務局用(1部)・競技専門部用(1部)・学校保管用(1部)
- 12 その他
- (1) 別紙軟式野球競技特別規定を熟読の上、申込み・参加すること。

西臼杵地区軟式野球競技特別規定 (R6版)

【競技を行うにあたって】

- 1 1チーム9名からの参加を認める。
 - 2 ベンチには登録された監督・コーチ・選手以外は入れない。
 - 3 外部指導者のベンチ入りは地区中体連評議委員会において承認された者に限る。またベンチ入りに際しては、県中体連のプレートを付け、試合終了後は本部へ返却する。
 - 4 監督等の服装については、次の通りとする。
 - (1) 監督は選手と同じユニフォームを着用し、背番号30番をつける。
 - (2) コーチは選手と同じユニフォームを着用し、背番号29番・28番をつける。または、平服(ワイシャツ・ネクタイまたは白いポロシャツ。ただし、女性は考慮する。)に選手と同一の野球帽とする。ただし、ノックを行う場合はユニフォームで行う。
 - (3) サングラスは使用しない。事情がある場合は大会本部の許可を得る。
 - (4) シューズについては、選手と同色のアップシューズまたはスパイクとする。(甲被カラーは白・黒の一色)
 - 5 選手、監督等のユニフォームの着用について
 - (1) 見苦しくないように着用する。
 - ① 上着の裾を出さず、たるませず、ベルトが見えるように着用する。
 - ② パンツの裾はストッキングのふくらはぎの部分が見えるまで上げる。
 - ③ 肩の部分をたくし上げない。
 - (2) ユニフォームの上着に個人名は入れない。また、ノースリーブの上着は認めない。
 - (3) ストッキングについて次の通りとする。
 - ① 危険防止のため、アンダーソックスとストッキングの両方を着用する。
 - ② ハイカットストッキングは禁止する。
 - ③ 選手によってミドルカットやローカット、紺や黒等が混在しないようにチームで統一する。
 - (4) 帽子は前髪が見えないように深くかぶる。
- (公財)全日本軟式野球連盟規程細則には、「ユニフォームの袖の長さは両袖同一で、左袖に日本字またはローマ字による都道府県名を必ずつけなければならない。また、他のものをつけてはならない。」と記されている。本大会では特に規定はしない。
- 6 選手の眉そり・茶髪等については、選手及び監督へ厳重に注意し指導する。指導された選手の大会参加については、当該校長に連絡の上、大会本部の判断に委ねること。
 - 7 選手の背番号は、一桁までは原則としてポジションを示す数字であり、全員が続き番号であること。
 - 8 選手は医療を目的としたサポーター等の使用は認めるが、強化目的の使用は認めない。
 - 9 選手はテーピングをする場合、露出する部分については肌の色に近いものを用いる。投手は、投球時にボールに触れる部分と露出する部分については禁止する。
 - 10 選手はサングラスを使用しない。ただし、選手の健康上の理由及び球場の条件によって大会本部で協議し認める場合もある。
 - 11 野球用の手袋は「打者」「走者」「投手以外の守備」に使用できる。リストバンドを兼ねたようなものは禁止し、手首から先のものとする。色は白・黒の単色のみとする。
 - 12 レッグガード・エルボーガードは原則使用禁止とする。事情により使用を希望する場合は、攻守の決定時に大会本部に申し出て許可を得る。
 - 13 リストバンド・リストガードは使用できない。また、サポーター(手首や指を固定、保護する目的の物)の使用は医療目的に限り、攻守の決定時に大会本部に申し出て許可を得る。
 - 14 滑り止めスプレーの使用を禁止する。
 - 15 マスコットバット、バットリング、鉄棒、公認球以外のボール等、試合で使用しないものの球場内への持ち込みは禁止する。
 - 16 用具装具については、試合前に審判員または大会役員の確認に応じなければならない。
 - 17 試合会場の施設状況により、会場特別ルールを設定することもある。
 - 18 試合進行や大会運営の円滑化のため、次のことに留意する。

- (1) 無用なタイムをとることを慎む。
- (2) 先頭打者とベースコーチは攻撃前のミーティングには参加せず、駆け足で位置につく。
- (3) 出塁した際、バッティング手袋をベースコーチに渡さず、自分のユニフォームのポケットの中に入れておく。走塁用手袋に変えるためにタイムをかけ、試合の進行を遅らせてはならない。
- 19 雨天・日没により試合続行不可能（5 イニングで試合は成立）な場合は翌日再試合を行う。中断・再試合等の判断については、選手の健康上の管理も含めながら会場責任者及び審判員の意見を十分に考慮し、地区中体連事務局と専門部（大会本部）の合議で決定する。
- 20 雨天等による大会実施可否の判断及び日程の変更については大会本部で決定する。
- 21 試合を行っているチームの行為が原因で、試合続行が不可能となるようなトラブルが発生した場合、起こしたチームが責任を負うべきであるから、そのチームを敗者とする。
- 22 試合開始・終了の礼は両チームが同時に行う。また、相手チームと別に審判員に礼をするようなことはしない。
- 23 試合終了の挨拶をもってすべてを終了とし、速やかにベンチを空ける。ただし、応援席への挨拶は認める。
- 24 各チームの監督またはコーチは、試合終了後に大会本部に連絡し、次の試合日程や連絡事項の確認を行うこと。
- 25 応援団については監督が責任をもつ。
- 26 応援団は次のことを守って応援をすること。
 - (1) 応援はあくまで自チームの応援であって、野次など相手チームや選手が不快な思いをいただくような言動は禁止する。
 - (2) 太鼓等の鳴り物やブラスバンドの応援を認めるが、自チームが攻撃している場面での応援とする。自チームが守備側の時は、座っていることが望ましい。応援の切り替えは3アウト成立時とする。
 - (3) 紙吹雪・紙テープ・個人名を書いたのぼりを使うことは禁止する。
 - (4) 応援席を散らかさず、ゴミは持ち帰り、美化に心がける。
 - (5) 試合を妨害するような応援はしない。
 - (6) メガホンを使用してもよい。
 - (7) 笛（ホイッスル）は使用してもよいが、投手が投球動作に入ると同時に突然使用したり、使用をやめたりするなど投手の投球に影響を与えるような使用は慎む。また、四球やワイルドピッチ・パスボールなどの時に、笛で盛り上げることをないようにする。
 - (8) 拡声器や音響機器の使用は禁止する。
 - (9) 応援用の横断幕は、スタンドフェンスのグラウンド側ではなく観客席側につける。
- 27 参加校の保護者代表者はゴミ袋を準備し、責任をもって後片づけを行い持ち帰ること。弁当の空き箱についても業者に確認し、確実に処分すること。

【試合開始前】

- 28 監督に引率されたチームは、試合開始1時間前までに会場に到着し、その旨を大会本部に申し出る。試合開始予定時刻になっても到着せず、何ら連絡がない場合は棄権とみなす。交通事情による到着遅延の場合は、大会本部で協議し決定する。
- 29 打順表の提出は、その日の第1試合は試合開始予定時刻の40分前、第2試合以降は前の試合の4回終了時とする。ただし、勝ち上がりのチームが続けて試合をする場合は、試合開始予定時刻の20分前とする。監督と主将は打順表を5部（本部・審判・放送・相手チーム・自チーム）持参し、登録原簿と照合ののち、球審立会いのもと攻守を決定する。
- 30 シートノックは行わずサイドノックのみとする。
- 31 ベンチ入れ替わり時、シートノックの準備ができるまでの時間に、ベンチ前でキャッチボールや素振り、準備運動をすることは認める。
- 32 相手のシートノック時に審判員または大会役員による服装・用具検査を行う（シートノックを行わない場合は、ベンチの入れ替え後すぐに行う）
- 33 次の試合のバッテリーの投球練習については、先発バッテリーに限り、打順表の提出・攻守決定終了後、試合に差し支えないように球場内のブルペンでの投球練習を許可する。ただし、球場外にブルペンがある場合には球場外のブルペンを使用する。服装は試合用ユニフォームとし、捕手は捕手の装具を全て着用する。

- 34 勝ち上がりのチームが続けて試合をする場合、2 試合目の開始時刻は、1 試合目終了から 40 分後を原則とするが、天候によっては大会本部で判断することもあるのでこの限りではない。
- 35 第1 試合前のアップ時の服装については、試合用のユニフォーム（背番号付き）を着用すること。ただし、天候等で選手の健康面に配慮する場合についてはこの限りではない。

【試合中】

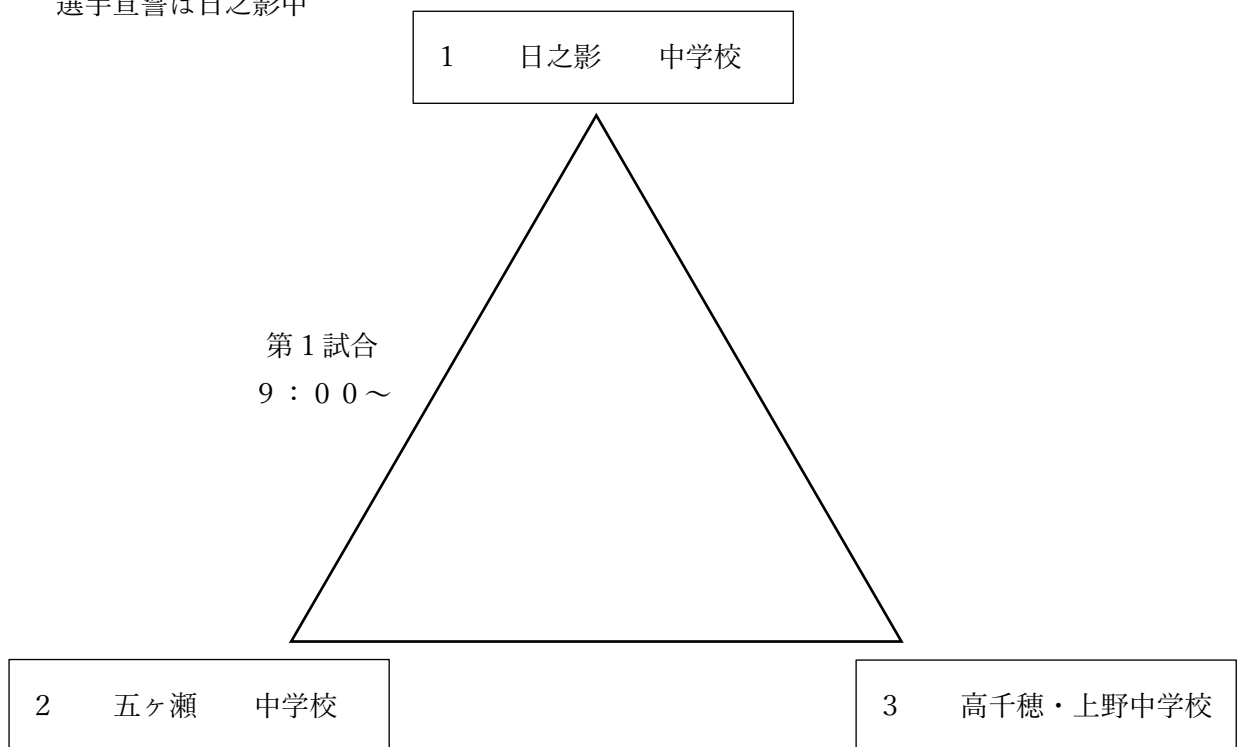
- 36 選手交代の申し出は、監督が行う。
- 37 ベンチ内でのメガホン使用は、監督に限る。
- 38 選手以外は、コーチスボックスに入ることはできない。
- 39 グラブの紐の長さは危険防止のため親指の長さ程度とする。
- 40 捕手の装具は連盟公認のマークのついたものを使用する。マスクでスロートガード一体型のものは、スロートガードをつける必要はない。
- 41 ヘルメットはSG マークのついたものを、チームとして色やデザインは同一のものを着用する。また、安全性が確保できないと判断されたもの（例：保護スチロールが外れるもの、保護パット不装着、ひび割れ等）は使用できない。
- 42 攻守交代時の代理捕手は、必ず捕手用ヘルメット・スロートガード付きマスク・プロテクター・レガースを使用する。（なお、ファウルカップの着用が望ましい。）
- 43 試合中の球場内では、次打者以外は素振りなどをしてはいけない。
- 44 投手（救援投手を含む）の準備投球数は初回に限り、7 球以内（1 分を限度）が許される。次回からは、3 球以内とする。（ただし、主審が状況を考慮する。）
- 45 本大会の投手の投球数は1 日 1 0 0 球とする。1 0 0 球に到達した場合は、その打者の攻撃が完了するか攻守交代するまで投球できるものとする。その際、1 0 0 球以降については投球数に含まないものとする。なお、雨天等によるノーゲームとなった場合には、投球数に含むものとする。
- 46 監督が投手のところに行く回数制限について「投手のところに行く」とは、監督がタイムをとってグラウンドに出て、投手または投手を含む野手が集まっているところで指示を与える状態を指す。伝令を使うか、捕手または他の野手に指示を与えて直接投手のところに行かせた場合、投手の方からファールラインを越えて監督の指示を受けた場合も同じとする。
- 47 ボールデッドで改めてタイムをとる必要がない状態の時も、「46」と同じ行為であれば回数に数える。

令和6年度 第48回西白杵地区中学校秋季体育大会軟式野球競技

期日：令和6年9月14日（土）

会場：高千穂町総合公園野球場

選手宣誓は日之影中



優勝： _____ 中学校

準優勝： _____ 中学校

第3位： _____ 中学校

第48回 西臼杵地区中学校秋季体育大会 ソフトテニス競技実施要項

- 1 日 時 令和6年9月14日(土)・15日(日) ※荒天順延
 選手集合 8時00分 ※受付を8時00分までに済ませること
 監督会 8時15分 ※監督会后、保護者代表者会を実施する
 コート開放 8時30分 ※1回目(3校) 2回目(2校) 各10分間
 開会式 8時55分

1 開式通告	2 優勝旗返還	3 大会会長あいさつ
4 競技・運営上の注意	5 選手宣誓	6 閉式通告

競技開始 14日(土) 9時20分: 団体戦
 15日(日) 9時00分: 個人戦

閉会式

1 開式通告	2 成績発表	3 表彰	4 講評	5 閉式通告
--------	--------	------	------	--------

2 会 場

高千穂町総合公園庭球場

3 参加資格

各学校により選抜された単一校チーム(個人)であること。但し、個人戦において、宮崎県中学校体育大会における複数校合同チーム編成規定に該当する場合は、この限りではない。

4 出場制限

- (1) 団体戦は、各学校において1チームとする。個人戦は各学校4ペア以内とする。但し、上位4ペアに入れない2年生については別に考慮することができる。
- (2) 団体戦のチーム編成は、監督1名・コーチ1名・選手8名以内の計10名以内とする。但し、2ペアで団体戦を構成する場合のオーダーは1番、2番とする。
- (3) 個人戦は、1校につき監督1名をおくこと。また、コーチ1名をおくことができる。

5 競技方法

- (1) 団体戦は総当たりのリーグ戦、個人戦はトーナメント方式とする。
- (2) マッチは団体戦・個人戦ともに7ゲームマッチとする。荒天等により5ゲームマッチを実施することもある。その際は、監督会で当該校の監督の承認を得る。
- (3) 勝者と順位の決定
 リーグ戦の場合は、勝率の高い順に順位を決める。勝率が同じ場合は次のア、イにより順位を決める。
 ア 二者同率の場合は対戦の勝者を優位とする。
 イ 同率者が三以上の場合、同率者相互のみの成績を比較し、勝率の高い順に順位を決める。
 ウ イの規定により順位を決めることができない場合は、同率者相互のみを比較(得失マッチ数・ゲーム数・ポイント数)し、これにより二者同位になった時点でアを適用する。
 エ ウの規定によっても順位が決定できない場合は、同率三者の1ゲームマッチのリーグ戦を実施して順位を決める。

6 競技規則

- (1) 現行の日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブック並びに本大会規則による。
- (2) 選手は背部(県名・学校名・姓)にゼッケンをつけること。四隅を留めるものとする。また、監督・コーチは胸部(県名・学校名・監督またはコーチ)にゼッケンをつけること。

《選手・背部》	《監督・胸部》	《コーチ・胸部》																					
26cm	15cm	15cm																					
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">県名</td> <td style="width: 30%;">4.5cm</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td>姓</td> <td>9cm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学校名</td> <td>4.5cm</td> <td></td> </tr> </table>	県名	4.5cm		姓	9cm		学校名	4.5cm		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">県名.....学校名.....</td> <td style="width: 30%;">1/3</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td>監督</td> <td>2/3</td> <td></td> </tr> </table>	県名.....学校名.....	1/3		監督	2/3		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">県名.....学校名.....</td> <td style="width: 30%;">1/3</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td>コーチ</td> <td>2/3</td> <td></td> </tr> </table>	県名.....学校名.....	1/3		コーチ	2/3	
県名	4.5cm																						
姓	9cm																						
学校名	4.5cm																						
県名.....学校名.....	1/3																						
監督	2/3																						
県名.....学校名.....	1/3																						
コーチ	2/3																						

- (3) 服装は「上はゲームシャツ、下は膝丈よりも上のパンツまたはスカート」を着用すること。また、

ソックスおよびテニスシューズを着用すること。服装のカラー化を認める。(用具を含む)選手は競技中、シャツの裾を外へ出したり袖をまくることはしない。長袖アンダーシャツ・ロングアンダーシャツ(ステッチも含めて)、サポーター、テーピングを使用する場合、その色は単色とする。

- (4) ストリングに装着する衝撃吸収材は使用しない。尚、ストリングは単色とする。
- (5) 団体戦のオーダーは各試合1部作成し、対戦校に提出すること。
- (6) 団体戦・個人戦のベンチ入りは、登録選手と監督・コーチとする。この場合、監督・コーチはチームのプレーヤーの一員と見なされる。
- (7) サイドコーチは禁止する。
- (8) 監督・コーチは、スポーツウェア着用する。シューズは選手に準ずる。
- (9) 選手は、服装、用具に新たなデザインなどを入れないこと。ただし、端の部分に学校名・名前を記入してもよい。
- (10) 異議申し立ては禁止する。但し、質問を妨げるものではない。質問の際は団体戦においては、(ベンチ入りしている)監督・コーチもしくは選手とするが、個人戦については、当事者である選手の一方とする。
- (11) 団体戦で2ペアしかないチーム同士の対戦で1対1になった場合はゲーム数・ポイント数の順で順位を決定する。それでも決まらない場合は抽選とする。記録は「①-1」とする。

- 7 使用球 次年度の県大会・九州大会・全国大会に準じる。(公認球の白色を使用する)
- 8 組合せ (1) 令和6年度西臼杵地区中体連第2回競技専門部会において、各学校理事及び代表者の抽選で行う。個人戦は、競技専門部で行う。
- 9 表彰 (1) 団体戦優勝校に優勝旗・賞状を、2位には賞状を授与する。
(2) 個人戦1位～4位に賞状を授与する。
- 10 審判 (1) 団体戦は生徒による相互審判とする。
(2) 個人戦は、予選リーグは各パートの残り、決勝トーナメントは原則として敗者が行う。
(3) 団体戦・個人戦ともに決勝戦は、西臼杵郡ソフトテニス連盟及び各学校監督・コーチに依頼することもある。
- 11 参加申込 (1) 申込方法 所定の申込用紙に記入し、(3)の申込先まで申込みこと。
(2) 申込期日 令和6年8月29日(木)
(3) 申込先 西臼杵地区中学校体育連盟事務局
(4) 申込書類 参加申込書(3部)※職印が押印されていること。
中体連事務局用(1部)・競技専門部用(1部)・学校保管用(1部)
- 12 その他 (1) 試合前の練習は指定されたコートで10分ずつの2クールで行う。
(2) 練習及び試合終了後のコート整備は協力して行う。
(3) 生徒への審判法の指導徹底を図ること。
(4) 団体戦オーダーは試合の時にその都度提出すること。
(5) 団体戦はゲーム進行に応じて2面並行して行う。
(6) 個人戦決勝と同時進行で3位決定戦を実施する。但し、審判については本部が依頼する。
(7) ベンチは、番号の若い方を南側とする。
(8) 開閉会式には全員が参加すること。(諸注意や容儀検査を行うため)
(9) 会場の後片づけをしっかりと行い、ゴミは責任をもって持ち帰ること。
(10) 団体戦については、昼食時間を40分確保する。個人戦については、昼食時間を設けず、準決勝・決勝の間の時間を20分確保する。

西白杵地区中学校秋季体育大会

女子ソフトテニス競技 団体戦

	日之影	高千穂	五ヶ瀬中等	勝	負	結果
日之影						
高千穂						
五ヶ瀬中等						

進行表

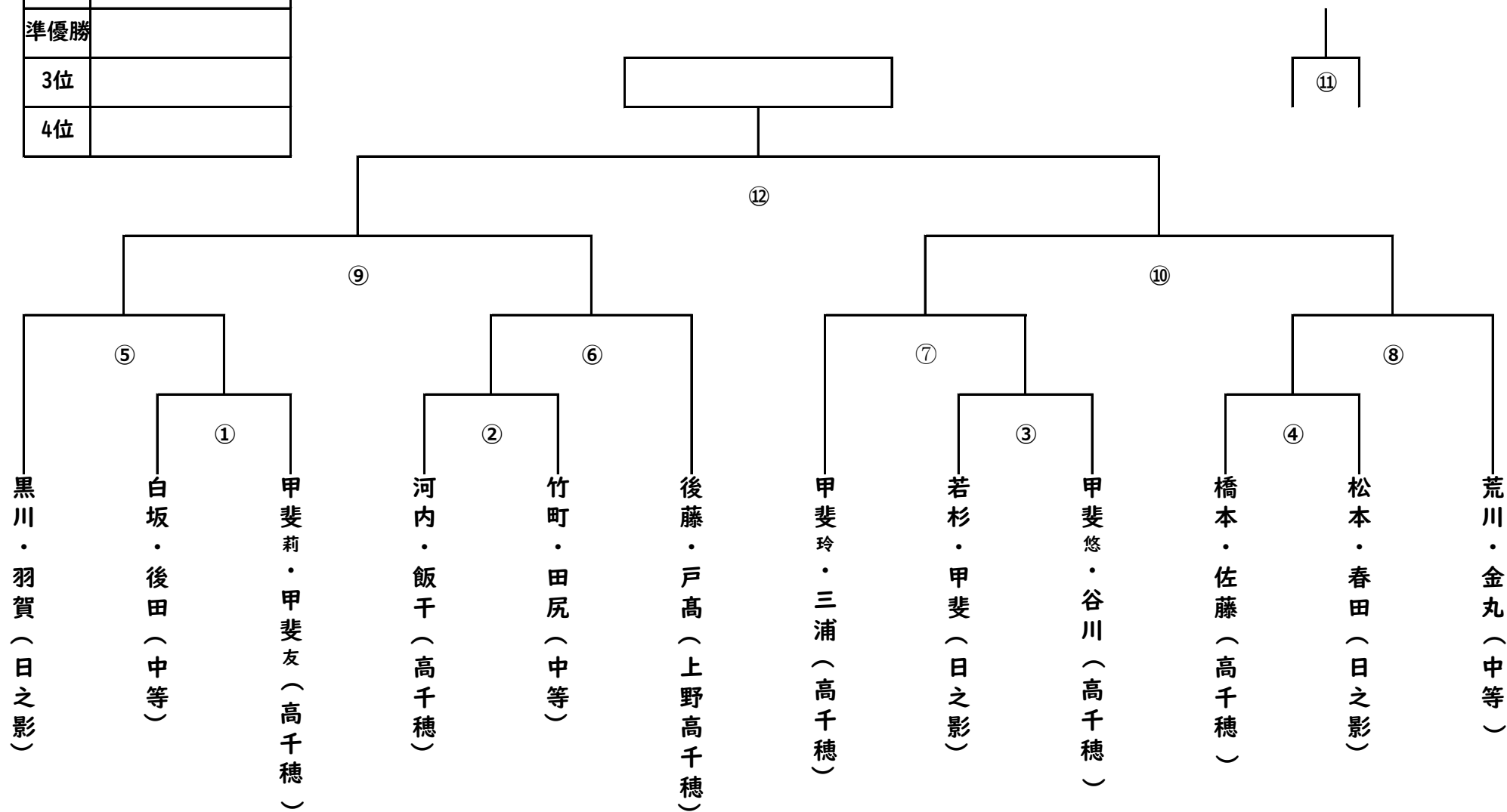
	1コート	2コート	3コート
第1試合	日之影 - 高千穂		
第2試合	高千穂 - 五ヶ瀬中等		
第3試合	五ヶ瀬中等 - 日之影		

西白杵地区中学校秋季体育大会

ソフトテニス競技

3位決定戦

優勝	
準優勝	
3位	
4位	



第48回 西臼杵地区中学校秋季体育大会 サッカー競技実施要項

- 1 日 時 令和6年9月14日(土) ※荒天順延
選手・役員集合 8時00分
監督会 8時30分
開会式 8時45分
競技開始 9時30分
閉会式 競技終了後
- 2 会 場 高千穂町折原グラウンド
- 3 参加資格 各学校により選抜された単一校チームであること。但し、宮崎県中学校体育大会における複数校合同チーム編成規定に該当する場合は、この限りではない。
- 4 出場制限 (1) 各学校・合同チームにおいて1チームとする。
(2) チーム編成は、監督1名、コーチ1名、引率責任者1名、選手18名の計21名以内とする。
- 5 競技方法 (1) 直接対決による決勝戦を行う。
- 6 競技規則 (1) 2024年度日本サッカー協会規則並びに本大会要項による。
(2) 試合時間は50分とし、同点の場合は10分間の延長戦を行う。尚、延長戦においても勝敗が決しない場合は、PK方式により勝敗を決する。
(3) 選手交代に関しては、競技開始前に登録した最大7名の交代要員の中から7名までの交代が認められ、一度退いた競技者も再び出場できる。但し、交代の手続きは従来通りサッカー競技規則第3条に則って行う。
(4) ユニフォームは、色の異なる2着のユニフォームを用意すること。なおユニフォームは参加申込書に記入したものとす。参加申込書送付以降の変更は認められない。また、背番号の変更も認めない。
(5) ユニフォームには、必ず背番号を付けること。なお、背番号は1～99とする。
(6) 審判が着用する黒色と同一、または類似のユニフォームのシャツを用いることはできない。ゴールキーパーについても同様である。
(7) 本大会中に警告処分を2回受けた者、また退場処分を受けた者は自動的に次の1試合に出場できない。
- 7 使用球 使用球は検定球5号ボールを使用する。
- 8 組合せ (1) 令和6年度西臼杵地区中体連第1回競技専門部会において、各学校理事及び代表者の抽選で行う。
- 9 表 彰 優勝校には、優勝旗・賞状を授与する。
- 10 審 判 サッカー協会審判員に委嘱する。
- 11 参加申込 (1) 申込方法 所定の申込用紙に記入し、(3)の申込先まで申込むこと。
(2) 申込期日 令和6年8月29日(木)
(3) 申込先 西臼杵地区中学校体育連盟事務局
(4) 申込書類 参加申込書(3部) ※職印が押印されていること。
地区中体連事務局用(1部)・競技専門部用(1部)・学校保管用(1部)
- 12 その他 (1) 審判の判定に対する批判・クレーム等は一切認めない。
(2) 試合球は各学校持ち寄りとする。
(3) 会場準備・後片づけは参加校全員で協力して行うこととする。
(4) ゴミの持ち帰り等マナー遵守についても各チームで確認すること。

13 当日の日程・組み合わせ

- 選手・役員集合 8:00

- 競技場設営 8:00～8:30
 - ・ ライン、コーナーフラッグ 高千穂
 - ・ ゴール 高千穂
 - ・ テント設営 五ヶ瀬中等

- 監督会 8:30～ 審判集合 8:30
本部テントにて行う（役員・監督・審判も一緒に行います）

- 開会式 8:45～

- グラウンド内ウォーミングアップ 9:00～9:15

- ◎ 競技開始 9:30
高千穂中学校 VS 五ヶ瀬中等教育学校
※ 25分ハーフ（50分）
※ 延長5分ハーフ（10分間）
※ PK戦

- 式次第
進行：伊藤（高千穂中） 進行：伊藤（高千穂中）
競技上の注意：山田（五ヶ瀬中等）

開会式	閉会式
① 一同礼	① 一同礼
② 優勝旗返還（高千穂中学校）	② 成績発表
③ 部会長挨拶（高千穂中：金丸智弘校長）	③ 表彰
④ 競技上の注意	④ 講評（西臼杵地区サッカー協会）
⑤ 選手宣誓（高千穂中：岩田湧心）	⑤ 閉会宣言
⑥ 一同礼	⑥ 一同礼